



松江第一中学校だより

江戸川区立松江第一中学校
江戸川区松江5-5-1
校長 瀬戸 完一
令和7年6月19日 第3号

すべての生徒が安全・安心に生活し、夢や希望に邁進できる学校を築く

未来につなぐ

校長 瀬戸 完一

現在、江戸川区では学校施設の改築事業に取り組んでおります。この度、松江第一中学校を改築することが決定いたしましたので皆様へお知らせいたします。詳細につきましては、先日配布させていただきました文書「松江第一中学校の改築について」（令和7年6月2日付）や江戸川区 HP、本校 HP 等でご確認ください。今後の改築事業スケジュールは今年度から基本構想・基本計画が行われ、令和10年度に既存校舎の解体、新校舎建設工事が始まります。令和13年7月に新校舎が完成し、2学期から新校舎を利用できる予定です。その後、校庭・外構工事を行い、令和14年7月に改築事業が完了する予定となっております。

本校は令和9年度（2027年）に創立80周年を迎える学校です。江戸川区の誕生は昭和7年10月ですが、当時は「半農半漁のまち」と言われ、総武線沿線を除き、蓮田や水田が一面に広がるのどかな田園風景だったようです。戦後間もない昭和22年（1947年）、教育制度改革で江戸川区には12校の新制中学校が新たに開校しました。本校もそのひとつであります。当時は独立した校舎もなく、区内で最初の公立小学校である松江小学校を間借りして開校しました。翌年9月に現在の場所に完成した新校舎は18もの教室をもつ木造平屋建ての校舎でした。当時、学校の正門前には水路があり、生徒たちは水路に架かる木橋を渡って登校していました。校歌にもあるように、周辺には水田や蓮田が広がり、白鷺の舞うのどかな田園風景が広がっていたそうです。

昭和62年には本校創立40周年の記念事業として、本校の校庭東南角に蓮池が造成されました。蓮池は設計から施工まで、当時の生徒、教職員、PTA有志の手作りによるものです。現在も本校PTAのOB組織「松江会」を中心に現役PTAと教職員、生徒会が長年に渡ってこの蓮田を守り続けてくれています。そして、令和6年度からは本区における脱炭素の取り組みのひとつとして、千葉県匝瑳市で行われている「ソーラーシェアリング方式」で発電された環境に優しい電気を本校では使用しています。校内の照明、空調設備、放送器具などの電気は、匝瑳市で発電した電力を江戸川区に送電し、本校で使用することにより年間約25万キロワット時の電力を再エネ電力に切り替えています。

現在の校舎は長きに渡り毎日の暮らしを支えてくれた大切な場所です。思い出す光景がそれぞれにあり、心の拠り所のような場所が変わってしまうことに寂しさを感じる方もいらっしゃると思います。校舎改築という大きな変化ですが、新しい暮らしや環境の中に、今までの大切なものが形を変え続いていく瞬間でもあります。私たちの人生の中では忘れられない場所や大切な人がいます。生徒の皆さんにとっても、松江第一中学校が「つながる場所」のひとつとなってくれたら嬉しいです。この校舎で過ごす時間を大切に、お互いの心を通わせながら、つながりを大切にしていける豊かな人間関係を築いてほしいと願っています。人生では何度も変化が訪れますが、積み重ねてきた時間や思い出を心の支えとし、夢に向かっていく力としてください。

今年度から改築事業に関する事前調査が行われます。安心・安全な学校生活を第一として考え、関係機関との連携を図ってまいります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。